

農政連情報

みどりの風

発行／熊本県農業者政治連盟

熊本市中央区南千反畑町2-3 電話 096-328-1284 編集責任者 中村 隆宏
発行日／令和6年2月15日・毎月1回15日発行 定価／1部 50円 (但し、会員の購読料は会費の中に含む)

県知事選に向け

農政連推薦候補を決定!

令和6年熊本県知事選挙

熊本県農政連は、2月6日、熊本市内で第5回農政連委員会を開催し、第21回熊本県知事選挙について、各総支部での組織討議を踏まえ対応を協議しました。

その結果、推薦候補として木村敬前副知事を決定し、同日に推薦証の授与式を行いました。

推薦状授与式では、農業者が希望と意欲を持って営農に取り組めるよう、「政策協定」(裏面参照)を締結しました。

県内11地区の総支部では木村候補者からの推薦申請を受け、組織討議を行い意見集約の上、2月6日の農政連委員会に臨み、木村敬氏を全会一致で県知事選挙の推薦候補に決定しました。



▲木村敬候補(左から4人目)に推薦状を渡す農政連の代表者

くまもと新時代、共に未来へ



木村

敬

たかし
(49歳)

『木村たかしさんのプロフィール』

- ・東京都出身 49歳
- ・東京大学法学部卒業
- ・自治省(現総務省)に入省
- ・熊本県商工政策課長、総務部長
- ・消防庁広域応援室長
- ・熊本県副知事

『木村たかしさんはこんな人』

- ・生まれる前に、へその緒に絡まって、左手首から先を失う
- ・蒲島郁夫知事が東大で持った最初のゼミでゼミ長を担う
- ・地方創生のプロになるべく自治省(現総務省)に入省
- ・12年前(2012年)の熊本県赴任以来、24時間365日熊本のことを考える
- ・熊本地震・令和2年7月豪雨に県庁と国の最前線に対応
- ・趣味は温泉めぐりとグルメ探訪、熊本で猫好きになる

特集

木村たかしさん「農業への思いを語る」



木村 敬
(前県副知事)

農政連は、前熊本県副知事の木村敬さんに、農政連委員から質問し、熊本の農業について語っていただきました。

宮本委員長

全国有数の農業県である熊本県の農業を守り発展させていくためには、農家の努力だけでは、解決できない状況になっています。また、ロシアのウクライナ侵攻以来、農家を取り巻く環境は厳しさを増しており、特に資材価格高騰等問題や2024年輸送問題、担い手、後継者問題、耕作放棄地問題など様々な課題が山積しています。木村さんは、前副知事として熊本県の農業についてどのような考えをお持ちですか。

宮本 隆幸
(県農政連委員長)

木村敬

私は、熊本県の最大産業である農林畜水産業を守り育て、食料自給率が全国上位を達成し、「食のみやこ熊本」を創造していきたいと思っています。

石本委員長

少子高齢化や、耕作放棄地の増加、近年の物価高による農家経営の圧迫、そして離農など、農家を取り巻く環境は厳しいものがあります。農業県熊本が今後も持続可能で、若い後継者が意欲を持って農業に取り組めるよう県には万全の支援をお願いした

太田 桂子
(女性部会長)



石本 勝也
(青壮年部委員長)



木村敬

新型コロナウイルス感染拡大による外食・業務需要減の影響を受けた畜産物や花き、茶、牛乳、野菜など幅広い品目について、JAグループと連携した消費喚起の取り組みや地産地消フェアの開催を主導してきました。

太田会長

私たちは子供や高齢者に寄り添い、食の安全・安心を掲げて女性部活動を行っています。食と農の安全についてどのような考えをお持ちですか。そして今後どのような政策を進めていくお考えですか。

木村敬

少子高齢化や人口減少が進む中でも生産力や産地力を更に強化できるよう、ブランド力向上による価格向上や、地域の営農資産と技術をセットにした経営継承を推進したいと考えています。

また、作物の生産強化・新規作物の導入支援を行い安全・安心な農畜産物の生産向上をめざします。

いです。
元副知事としてのこれまでの取り組みをお聞かせください。

政策協定書(抜粋)

本県が引き続き全国有数の食料供給基地としての役割を果たすとともに、農業者が希望と意欲を持って営農に取り組む、活力ある地域農業と豊かな地域社会を実現するため、本連盟は、推薦候補者 木村敬 氏との間において下記事項の実現のため、政策協定を締結しました。

記

1. 食料安全保障に向けた基本政策の具体化と予算の拡充
2. 生産資材高騰対策等の継続・拡充
3. 適正な価格形成の実現と国・県民への理解醸成
4. みどりの食料システム戦略をふまえたスマート農業の推進等
5. 2024年輸送問題に関する支援の拡充